

近年の文化心理学研究によれば、日本文化を生きる人々の心のあり方は、相互協調性にその特徴があるとされる。相互協調的な心のあり方は、集団の和を重視すると考えられている日本の文化と整合的ではあるが、両者がどのようなメカニズムのもとで相互に規定しあうのかについては、十分な議論がなされていない。本研究では、実施した3つの研究知見をもとに、日本人の相互協調的な心のあり方の背後にあると考えられる「予言の自己実現」のプロセス——人々は、実際には相互独立的な生き方を望んでいるにも関わらず、世間一般の人たちは相互独立的に行動しないだろうと予想するため、また相互独立的な行動を取るとまわりの人たちから嫌われてしまうだろうと予想するために、相互協調的に振舞う——を指摘する。そのうえで、日本人の相互協調的とされる心理を維持させるメカニズム（≒制度）について考察する。

キーワード：相互協調性，予言の自己実現，制度